

03

令和元年度川崎市都市農業活性化

農工商等連携モデル事業を紹介します

令和元年度のモデル事業は、個性あふれる新規事業 4 件です。それぞれの取組が展開しています！

新規

川崎の FARM TO TABLE ～川崎市を食農でもっとおもしろく！～

株式会社 GREET / ビストロキュー

レストランは、お客さんに野菜の価値を直接伝えたり、お客さんの声を農家さんに伝えたり、美味しい食べ方や調理方法を提案できるという特徴を活かし、市内産農産物や惣菜の販売を通じて、レストランならではの市内産農作物の付加価値向上を目指して取り組んでいる。

- かわさき農産物の店頭販売（週 2 日）5 月中旬～
- かわさき農産物をつかった DELI の販売（週 2 日）
- かわさきの生産者さんの紹介（POP 掲示、インタビューレポート）



店舗の軒先で彩りある野菜や DELI が並ぶ。

新規

多摩川梨ブランディング事業

松屋梨園

多摩区に古くから住む市民には親しまれている多摩川梨だが、近年は転入者が多く、認知度が低下している。そのため、多摩川梨の PR につながる自社パンフレット、チラシを通じた多摩川梨全体のブランディングや、他農園とのパンフレットデータの共有化等を目指す。

- デザイナーとの打合せ・取材、梨の撮影などパンフレット作成
- 既存のパンフレットを使った飲食店等への配架協力依頼の実施、マルシェなどのイベントでの配布



7 月末から梨の収穫が始まる中で、撮影や取材、協力依頼などを実施。

新規

農産物の受託加工「和光大学かわさきブランド」

株式会社 CarnaEst

都市農業経営の多角化のひとつとして六次産業化があるが、生産者自らが取り組むには設備投資や手間などハードルが高く困難である。そのため、和光大学と連携し、販売に適さない農産物（特に果樹）を生産者から買い取り、加工等を請け負う取組を実施。

- いちご等のフルーツワインの製造・試作
- 市内洋菓子店と連携したジャム製造
- 和光大学の学生と連携したパッケージデザインの検討



倉方教授によるパッケージデザインの監修。

パティスリーエチエンヌへ完成したジャムの受け取り。

新規

農業者と援農ボランティアのマッチング応援

株式会社スタイル・フリー

「人手が足りない」「忙しいときに手伝ってほしい」という農業者と、「農作業をしてみたい」「農家さんに協力したい」という市民をマッチングするサービスを立ち上げることで、市内の農業を盛り上げようという取組。初めての方でも気軽に利用できるサービスを目指しており、年明けにホームページを公開する予定。

- 市内関係者（農業者およびボランティア組織）への取材
- ホームページのデザイン・制作



サービス利用の流れ

スマホ画面のイメージ

かわさき都市農業活性化

コト・モノ・ヒト

川崎市農工商等連携推進事業

News



令和 1 年
11 月号

発行者：川崎市農業振興課

川崎市では、生産者と消費者の距離が近いというメリットを生かした営農や、農地の持つ多面的な機能を生かしたまちづくりが積極的に行われています。一方で、都市化の圧力や相続を契機とした農地の減少、農産物価格の低迷、担い手の減少や高齢化などの農業に関する様々な課題もあります。

これらのメリットや課題を踏まえ、農業者が、商業者、工業者など、多様な主体と連携することによって、都市農業の可能性をさらに広げることを目的に、「都市農業活性化連携フォーラム」、「モデル事業」、「都市農業活性化連携部会」等を開催してきました。今年度はさらなる連携の可能性を広げるためのアンケートを実施しました。これらの取組を紹介します。



今年度の予定

4 月	モデル事業採択（新規事業 4 件）	……………	本誌 02 参照
9～10 月	農工商等連携に関するアンケート調査の実施	……………	本誌 03 参照
11 月	川崎市農工商等連携推進事業広報紙	令和元年 11 月号発行（本誌）	
----- 今後の予定 -----			
1/20	第 7 回かわさき都市農業活性化連携フォーラム		
3 月	川崎市農工商等連携推進事業広報紙	令和 2 年 3 月号発行予定	

01

農工商等連携が紹介されました！

昨年度のモデル事業が、メディアなどで紹介されたので、その一部をご報告します。

- ・早野地区「かぼちゃ加工」モデル実践事業 2018 年 10 月（読売新聞／神奈川新聞）
- ・未利用資源（ポイ竹）を使った商品開発事業 2018 年 10 月（神奈川新聞）
- ・「くろかわのアスパラガス」ブランディング事業 2019 年夏号（しんゆり人）
- ・じもとクリエイターによる「かわさきの農のマナー UP」プロジェクト Part2 2019 年 5 月（東京新聞）、2019 年 6 月（神奈川新聞）



お問合せ

川崎市 経済労働局 都市農業振興センター 農業振興課 農政係
住所：〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7 JA セレサ梶ヶ谷ビル 2 階
TEL 044-860-2462 FAX：044-860-2464

02 農商工等連携に関するアンケートを実施しました!

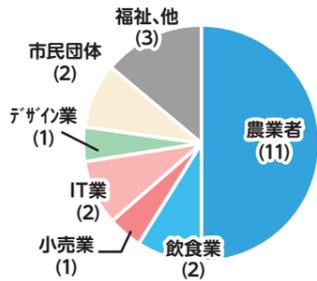
これまで農商工等連携に関わった皆さんに、農商工等連携の現状と課題、また、今後の可能性についてお伺いし、さらなる連携の具体化への取り組みへ活かしていくためにアンケート調査を実施しました。

■ 調査概要

- ①対象者:これまで農商工等連携を具体化された皆さんや、一昨年開催の連携部会等に参加された皆さん
- ②期間:令和元年9月25日~10月10日
- ③アンケート送付数:44件
- ④回収数:22件(回収率50%)

■ 回答者の属性

- ・回答者は、農業者が11件、農業者以外の皆さんが11件でした。
- ・他の業種を兼ねている農業者は、「農業者」として整理しています。



Q. あなたが実施された農商工等連携は何ですか。(複数回答)

農産物を活用した商品開発、パッケージ開発

12件

直売やイベント、観光などの共同開催

11件

営農作業の負担軽減や補助につながる道具やシステムの開発

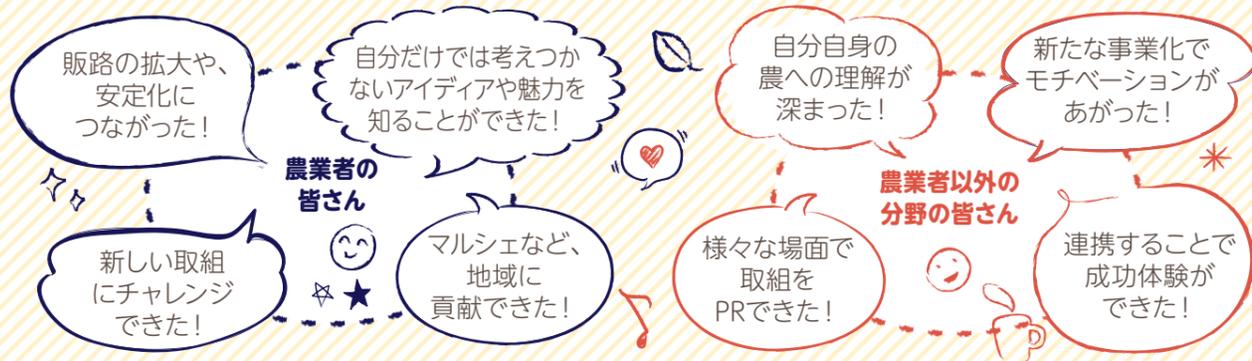
2件

盗難被害やごみのポイ捨て等のマナーアップによる営農環境向上

1件

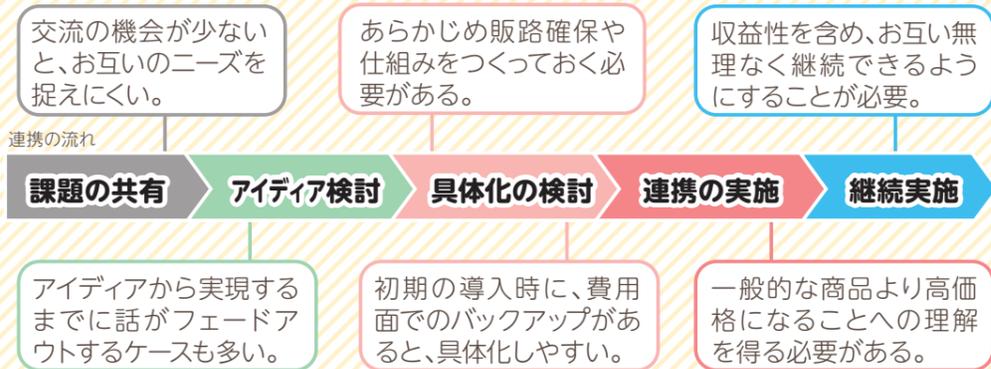
Q. 農商工等連携で実践してよかったことや、魅力について、具体的に教えてください。

連携したことで、事業や取り組みの拡大や、モチベーションアップにつながったという意見が多かったです。



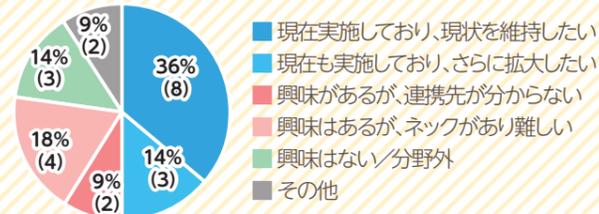
Q. 農商工等連携で課題と感じたことや、連携する上での注意点があれば教えてください。

農商工等連携の主な流れの各段階において、ネックや課題、注意点がわかりました。



Q. 飲食店と農業者が連携した野菜の直売や惣菜の販売をやってみたいと思いますか。

- ・「興味がある」との回答が26% (6件)。そのネックとして、**連携先がわからない、配達の手間やコスト**、出荷量が少ない等があげられました。
- ・その他、飲食店で作った**惣菜を直売所で売りたい**(仕入れや保管等に課題)、市内産野菜を使った**加工品を飲食店で使ってほしい**などの意見もありました。



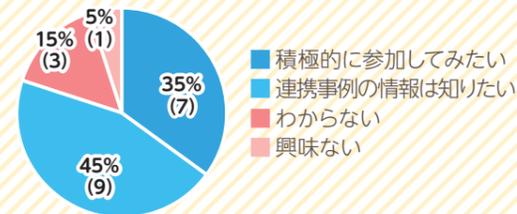
Q. 農産物の加工をやってみたいと思いますか。

- ・「実施している」が54% (12件)、「興味がある」との回答が18% (4件)。ネックや課題として、**販路の確保や継続するのが難しいこと、市内に加工場がないこと**等があげられました。
- ・その他、加工しているが販売まではしていない、飲食店でも取り入れたい、などの回答もありました。



Q. 連携事例を発表したり、情報交換できるイベントやSNSがあったら、参加してみたいと思いますか。

- ・「積極的に参加してみたい」及び「連携事例の情報は知りたい」という回答が80% (16件) ありました。
- ・農業者の皆さんは、「連携事例の情報は知りたい」が最も多く、その他意見が分かれました。
- ・農業者以外の業種の皆さんからは、「積極的に参加してみたい」が最も多く、「わからない」や「興味がない」という意見はありませんでした。



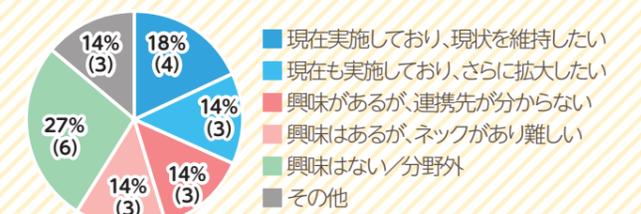
Q. 農産物の販促ツールをつくってみたいと思いますか。

- ・「実施している」が50% (11件)、「興味がある」との回答が23% (5件)。ネックや課題として、**連携先がわからないこと、作る機会がない**、その場限りで終わってしまう、などがあげられました。
- ・その他、依頼があればデザインしている、飲食店でも活用したい、などの意見がありました。



Q. 援農ボランティアを活用したい、またはやってみたいと思いますか。

- ・「興味がある」との回答が32% (7件)。ただし、**草取りだけとか重労働な作業でもやってくれる人**がいるのか? 時間が合うのか? という意見がありました。
- ・その他、人材育成する機関があるとよい、お互いにメリットのある仕組みがあるとよい、**収穫や配送**をボランティアに頼みたい、などの意見がありました。



Q. 農業に関して興味のあるテーマや、知りたいことはありますか。

- **情報がほしい**
- ・**地産地消を進めている・興味があるお店**を知りたい。(農業者)
- ・環境対策や作業減となる**農産物のエコ包装**や、消費者にエコ推進活動に協力を促す取り組みに興味がある。(飲食店)
- **連携先を知りたい**
- ・**果樹やのらぼう菜の加工品開発**。(市民団体)
- ・購入したいので、**ルバーブ、キウイの栽培農家**を知りたい。(その他)
- **市の農業の現状や方向性**
- ・新規農業事業者の有無、今後の農政環境(その他)

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。